

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱			
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	中島 強太			
作業名称	システムカディー移設	作業手順書	作成年月日	令和5年4月1日			
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	クレーン付トラック(4t積2.9t吊)		改正年月日				
	台車(ストッパー付)		現場責任者	自筆サイン			
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ナイロンスリング		協力会社	会社名			
			協力会社責任者	自筆サイン			
保護具	ヘルメット、手袋、安全帯、視認性の良い作業着、自発光チョッキ(夜間及びTN内)			作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	①自動車運転免許証(大型)、②小型移動式クレーン技能講習、③玉掛技能講習				1	事前準備	
					2	出発～現着	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員 3人、③小型移動式クレーン操作者 1人				3	作業開始	
	※必要に応じて、増員可 合計 5名				4	後片付け	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日		令和5年4月3日	5	現場離脱
	<small>(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする。)</small>					6	
					7		
				8			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度 職長が確認
					△×、×△	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
					××	5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認・埋設物を図面で事前に確認する。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	ケーブル等周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がないケーブルが確認された場合、作業を中断し、担当者へ報告すること。						
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
			荷台シート養生時に足を滑らせ転落する	△	△	△△	3	安	単独作業は禁止とし、2名以上にてシート養生を実施する。
出発～現着	基地(事務所) 出発及び路肩流入・現着	現場付近の路肩及び車線内への流入を行う	後続車への注意喚起が遅れ、線形や視界が悪い場合追突される	△	×	△×	4	安	道路線形等を考慮し500m以上手前から回転灯、表示等を明示する (視界が悪い場合は、1km以上手前より実施)
作業開始	システムカディー運搬	2名以上にて台車を用いて運搬を行う	道路勾配により、台車が滑走するし一般車と接触する	△	×	△×	4	公	滑走防止装置付きの台車を使用し、2名以上で作業が出来ない場合は、作業員を増員させて行う
		クレーン付きユニックを用いて、吊上げ・運搬を行う	ユニック使用時、旋回範囲に作業員が立ち入り接触する	×	×	××	5	安	ユニック使用時は、操作者と玉掛け者の作業位置関係その他の作業員は、立入りを禁止する
		カディ内の水袋を取り出し・運搬を行う	水袋を運搬時、滑りやすい為 手足に落とす	△	△	△△	3	公	滑りにくい手袋の着用、2名以上にて作業を行う
後片付け・離脱	後片付け・離脱・機材整理	清掃作業を確実に実施	清掃作業を怠り、一般車両通過時に資機材が接触し管理瑕疵となる	△	△	△△	3	公	従事者全員にて清掃完了確認の実施を徹底する